



油木小学校 5年学級通信  
—第 25 号—  
令和2年10月14日(水)  
文責 上野 康博

## 町の活性化について学ぶ（町長をお招きして）



9月30日の総合的な学習の時間に入江町長にお越しただいて、神石高原町の活性化についてお話を聞いたり、児童からの考えを発表したりしました。

児童からは、①林業に力を入れて加工品やバイオマス発電を行ったらどうかという提案②小中学生の学習塾があるとうれしいことを話しました。

町長さんへの質問として、

### ①今特に力を入れていること

- ・コロナ対策に力を入れている。安全・安心が一番。飲食店の売り上げが落ちているので援助をしている。
- ・教育に力を入れている。今までは給食費無償だったが、今はタブレット、電子黒板導入をしている。

### ②182ステーションを新しくしたのはどうしてですか。

- ・平成6年にオープン。しかし、売り場が狭かったり車椅子が通らなかつたりしていた。年間50万人利用されているので、PRや特産品の販売に有効利用したい。4億5千万円の売り上げが6億まで増えている。

### ③きのこの森をトマト公園に変えたのはなぜ？

- ・道の駅+子ども連れを考えたとき、遊べる場所を近くに作り、長く過ごせるようにしたかった。

### ④人口減少に対して手立ては？

- ・町外からの人を町内へ定住してもらえるように考えている。

### ⑤観光地を増やす計画はありますか？

- ・今ある魅力を伝えていく。

(自分も含めてたくさんの魅力に気付いてないことが分かりました)

### ⑥どうして保育所を新しくしたのですか。

- ・地震対策と木にかこまれた環境を作りたかったから。

### ⑦空き家バンクの利用状況はどうか。

- ・平成19年からしているが、利用はいい。300人近い方が利用されている。

町長さんの話から

○安心・安全に暮らせるのが一番。人口が減ると何が困ると思いますか。・・「働く場所が減っていくこと」「税収入が減ってくる」「減ってくると色々な活動ができなくなる」「町民の声を聞いて施策を考えている」ということを話されました。

○リモートワークも考えられることが分かってきた。学校へタブレットや電子黒板を入れたのもこれから使えるようになる人材を育てていきたいから。東京の4割の人が田舎暮らしをしたいと考えていることを活用したい。

○かがやきだよりを使って、町内で働ける人を探している。また、ケーブルテレビでも流している。ということでした。

○「ホテルが乱舞すること」にしても住んでいる人にとっては当り前のことだけれども、わざわざ東京から見に来る人もいる。そういったところをアピールしていきたい。といったことを話されました。

※自分たちが気付いていないことがたくさんありとても勉強になりました。この会に際して、子どもたちは家の人に聞いてみたり、すでに知っていることもありとても関心を持って学習に臨んでいました。

今回の学習を生かして、自分たちでパンフレットをつくっていろいろなところに置いていきたいと考えています。また、10月26日には町長室訪問に行きます。

